

Unit Dance Bookshelf / 吉福敦子 Unit Dance Bookshelf / Atsuko Yoshifuku

スフィンクスの絵本 ~若葉町バージョン~

Sphinx's Book - Wakabacho version-

朝は四本足、昼は二本足、夕は三本足、この生き物はなあに？

スフィンクスは人の一生を朝昼夕になぞらえ謎かけを發しました。人生を1日に例えるなら、今は何時でしょうか。

この作品は3人のダンサーが「自分史」をスケッチブックに作り、それを「舞踊譜」として話し合い、交換し合い、創られました。

来島友幸の "Form is Rhythm" という「場所の時間」を収集し、弱音で「リズム」と「間」を奏で続けるインスタレーションの中で、ダンスが記憶の頁をめくります。今回は若葉町バージョンに完全リニューアル。



photo : 堀毛成美

2019年

2月9日(土) 15:00 / 19:00

2月10日(日) 11:30 / 16:00

*開場は開演の30分前

★ 10日16:00の回終了後に「対話による鑑賞会」あり。(要予約)

ニューヨーク近代美術館で開発された美術鑑賞法、対話型鑑賞で作品について対話をします。ファシリテーターのリードで感じたことを話してみませんか。どの日にちでもパフォーマンスを観た方ならご参加できます。

ファシリテーター：齊藤実雪 (NPO法人 SEED OF ARTS)

■チケット：前売 一般3,000円 当日 一般3,500円

*「対話による鑑賞会」無料(要予約)

*全席自由席

*上演時間 60分(予定)

■ご予約・お問い合わせ：

StudioGOO E-mail : fukugoo@yahoo.co.jp

Tel : 03-3326-4945

Web : <http://www.studiogoo.net/>

JCDN ダンスリザーブ <http://dance.jcdn.org/>

*メールでご予約の際は、件名「スフィンクス」とし[お名前、フリガナ、鑑賞日時、枚数、E-mail、電話番号]をお知らせ下さい。

*「対話による鑑賞会」参加ご希望の方はその旨をお書き添えください。

■会場：若葉町ウォーフ

横浜市中区若葉町3-47-1 <https://wharf.site>

京急「黄金町」下車 徒歩4分

京急「日ノ出町」(急行停車駅) 下車 徒歩8分



構成・演出：吉福敦子

振付・出演：尾形直子、平田友子、吉福敦子

美術：来島友幸

音楽：船橋陽

照明：岡田淳

音響：サエグサユキオ

舞台監督：呂師

映像：宮部勝之

張り子製作：来住真太

記録写真：bozzo

制作協力：塚原ゆきえ、長谷川謙一郎

制作：StudioGOO

主催：Unit Dance Bookshelf



Unit Dance Bookshelf

作品ごとにメンバーを集める吉福敦子によるダンスユニット。2011年旗揚げ。主な作品に「窓の向こう」「間奏曲」など。東京・福岡にて上演。シンプルにしてミニマル。シュールレアリスティックな世界観が特徴。

吉福敦子：ダンサー、振付家、ワークショップデザイナー。モダンダンス、バレエ、ボディワークを学ぶ。黒沢美香&ダンスのメンバーとして活動した後、1989年川口隆夫らとATA DANCEを結成。96年よりソロ活動開始。2011年「Unit Dance Bookshelf」始動。「書物を読むようにダンスの行間を読み解く」を信条に活動中。<http://www.studiogoo.net>

来島友幸：美術家。神戸出身、横浜青葉区在住。まわりの環境と自身の時間感覚を下敷きとした小さな音しかでないちょっとコアなインスタレーションを作っています。焦点をしぼらない、不確かさを大事にする弱音スケープなるものです。

船橋陽：1995年から主にサクソフォンによる演奏活動を開始。現在は即興演奏によるソロやセッション、自身が主宰するユニットなどで活動。一方、大橋可也&ダンス、富士山アネットなど、ダンスカンパニーへの楽曲提供や演奏参加、ファッション展示や映像作品のためのサウンドなども手掛けている。2012年にRONDADEより「3AM」をリリース。また、近年は音楽活動と並行して、サウンドオブジェや写真も発表している。<http://yowfnhs.exblog.jp>